

SASUE LIBRARY
町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



だるまのしゅぎよう

ませぎ りえこ 作者

だるまにお願い事をしてみたら、なんとだるまの国に行っちゃったさくらちゃんといっしょに帰ってこれるのでしょうか？

TAKANOSU LIBRARY
町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



ソース

マヒル 著

コンビニで毎日、ソースだけを買う女性がいた。そこには悲しい理由が...

町立図書館おすすめ

BOOK

図書館においてある本の中からおすすめのものをストックアップ。バラエティに富んだ本を紹介します。

Pick Up publication

長島 文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

雉子啼いて句碑突兀と溶岩に立つ
手作りのひな人形の顔は孫
野仏の耳をくすぐる寒き春
熱の児を抱いて寝る夜の雪あかり
浜防風摘むや先師の懐はるる
釣好きの医師は屋より冬鴟
寒明けのじゃがいも畑の芽出しかな
漆黒の花器に一輪梅咲けり
水ぬるむ水面に浮かぶ梅の花
刺すといふ最後の勤め針供養
水ぬるみポリバケツにも桃の枝

淵脇 護
中橋 藤七
山寄加代子
大堂 早苗
二階堂妙子
筑前 初市
二階堂恵子
関 佳代美
坂口 静子
竹内 功
大堂 正弘

長島短歌会

ストーブに手をかざしつつ家族十人囲炉裏火を囲
みし昔を思ふ
匂ひたつ水仙切りて仏壇に供へて語るふ父母恋し
音もなく風たつ庭の雪柳まぎれなき白日すがら揺
るる
わが身への褒美と思ふ一万歩終へしひと日を謝し
て眠りぬ
爽やかに晴れたる空に四百羽鶴陽を受けて羽の輝
き

中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝
林 ヒロ
本田 幸子

浴槽に浸りて漢詩吟ずれば静けき我家に声の響こ
ふ
松元 睦子
並びたる雄雛・雌雛のすまし顔孫の幸ひ祈りて座
る
吉田 映子
辛夷咲くを語らふ人なし夫あれば急がず待てよと
笑ひ来るかも
市尾 操
山桜微かな風に舞ひて散るソメイヨシノの広場に
増して
岩下 ち江
並びぬる広場の車ら一斉に輝き見ゆる朝の日の出
に
岩下 房代
佛花替へお経あぐれば心身の軽やかなりてハミン
グの出づ
榎平 頼子
孫の声響交ふ現在を思はざり深海に棲む心抱き来
て
米尾 和子
いかなごの釘煮届きぬ炊きたての春の香りを亡夫
と頂く
坂之下典子

一般作品

何時迄も人生有て欲いかな思い願いを成しとげた
りや
町田 末則
貧しき日生芋かじり飢え凌ぐありし日偲ぶ今で幸
せ
天地 雪舞
忘れ物ありたるや父茶毘の火も消さむとばかり大
雨降らす
平木 良雄
春とふ季を求めし鳥たちも「生」を営む皆となり
けり
宗方 清明
子供らの手をつなぎ来る春山の芽吹きの木々も霞
に隠れ
中仮屋辰子
「俳句」
「飛脚」という頭の下る江戸の世を
宗方 清明